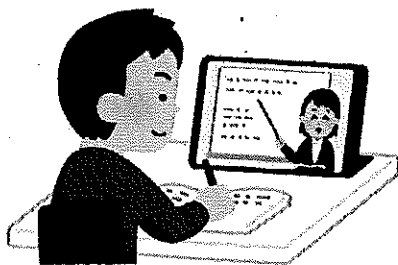




令和7年度

学習の手引き

3年生



津市立東橋内中学校

目次

はじめに	 1
1. 中学校の勉強について	 1
2. 家庭学習、家庭学習習慣について	 2
3. 学習評価について	 3
4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス	 5
5. なぜ勉強する必要があるのか	 6
6. 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について ..	6
特別活動について、特別の教科道徳について	 7
シラバス	
○国語科	 8
○社会科	 10
○数学科	 12
○理科	 14
○外国語科	 16
○技術・家庭科(技術分野)	 19
○技術・家庭科(家庭分野)	 21
○保健体育科	 23
○音楽科	 25
○美術科	 27
○特別支援教育について	 29
○国際教室について	 30
おわりに	

0. はじめに

中学校の学習では、生徒が将来自立した社会人として自分の人生を主体的に歩いていくための基礎となる「学力」*1を育みます。その中、文部科学省より2021年度4月から改訂学習指導要領が全国一斉に実施されることになりました。この改訂により、今までと学習内容と学習評価が大きく変わりました。また、本校では、生徒の潜在的な可能性を見つけ育み、未来を自分の力で切り拓いていける生徒の育成を目指しております。

このことから、改めて東橋内中学校の学習活動、学習評価について保護者の皆様や生徒の皆さんと共有し、生徒一人ひとりにあった適切な指導、評価をしていきたいという思いで本書を作成いたしました。

*1 「学力」とは、教科の知識や未知の問題に対して継続的に解決する力等のことです。

1. 中学校の勉強について

中学校の教科は、国語、数学、社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9教科10科目となります。小学校よりも科目数が多くなり、内容もとても難しくなります。小学校に比べて進むスピードも速くなり、授業だけでは追いつかなくなります。そのため、家庭での「予習・復習」が大切です。例えば、「法隆寺」を見学する場合、何も学習せずに観に行くと、ただの古い建物としか思いません。しかし、前もって調べ学習をしておくと、「世界最古の木造建築物」や「聖徳太子が建築したこと」など事前に知識を入れて実際に見ることができるので、見方が変わってきます。これが、「予習」のすごさです。予習では、次回どのような内容を学ぶのか教科書などを通じて調べることで、予習しないで授業に臨むときとは異なる気持ちで授業に向かうことができます。

また、授業を受けた後、今回学んだことを自分なりに整理する時間として復習を行います。この授業では、どのようなことを学び、何が大切だったのかを行うのが復習です。この「予習・復習」を行うことで、「自分をコントロールする力（自己調整力、メタ認知）」を育てることができます。

家庭学習は自分との勝負になります。家庭では、ゲームをする時間などが自由にありますが、勉強する気持ちを持って取り組むことにより、自分自身をコントロールする力を身につけることができます。そのためにも毎日家庭学習を行う習慣を身につけることが大切となってきます。

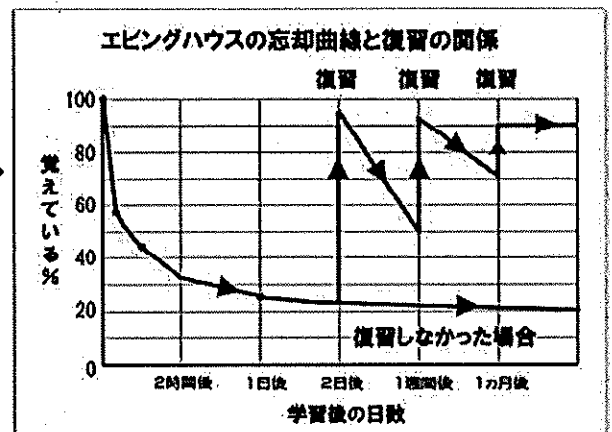
2. 家庭学習、家庭学習習慣について

学力を身につけるためには、「主体的に学ぶ力」が必要です。この力は、みなさん一人ひとりの学習計画に基づき、継続的に学習することによって身につけていく力です。そして、授業と家庭学習が一体となって自然と身につけていくものだと考えています。また、毎年中学3年生を対象に行われている全国学力学習状況調査によると、生活習慣と家庭学習習慣は生徒の正答率に影響していることが調査から分かってきました。このようなことから、子どもの学力を付けさせようとしたときに家庭学習やその習慣は不可欠なものとなっています。

Q.なぜ家庭学習をしないといけないのですか？

⇒ A.人は「忘れるのが当たり前」だからです。

- 家でもう一度勉強することで、忘れることを防げます。
- テスト前に一気に思い出すのではなく、毎日コツコツ思い出していく方が、学力UPの効果は上がります。



<保護者の方へ>

家庭学習の習慣は、お子さまの生活リズムを整えることにも効果を発揮します。

「毎日、〇時～〇時までは家庭学習の時間」と、家庭で

設定することをお勧めします。



褒めることも大切



依存から脱けだそう

3. 評価について

令和3年度から学習指導要領が改訂され評価の観点が「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」

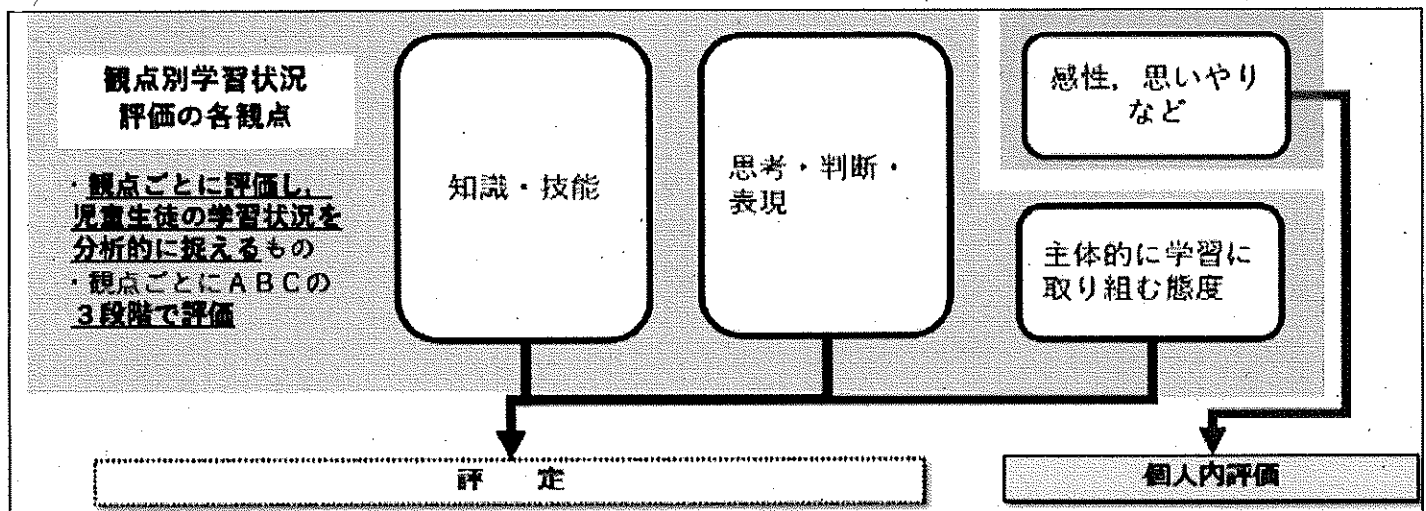
「主体的に学ぶ力」の3観点となりました。

「知識・技能」では、各教科等における知識及び技能の習得状況を評価します。

「思考力・判断力・表現力」では、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「主体的に学ぶ力」では、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価します。また、それぞれの項目に対してA、B、Cの評価をします。

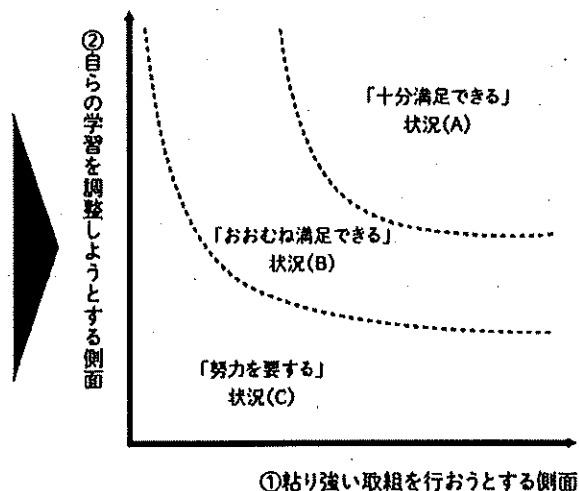
評価のイメージ図



「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

① 粘り強い取り組みを行おうとする側面は、目標達成までやり抜く力を指します。

② 自らの学習を調整しようとする側面は、学習の目的を達成するために工夫することを指します。



具体的な評価の一覧【通知表に載るもの】

観点別学習状況評価 【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に 学ぶ力】	評 定
A:「十分満足できる」状況と判断されるもの	5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	4:「十分満足できる」状況と判断されるもの
C:「努力を要する」状況と判断されるもの	3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
	2:「努力を要する」状況と判断されるもの
	1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの

具体的な評価の方法（あくまでも 1 例です）＊学習の内容によりパーセンテージは変わることがあります。

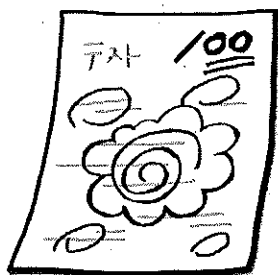
観点別学習状況の評価		学習の実現状況		評 定	
A	十分満足できる	A [○] (5点)	90%以上	5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い
B	おおむね満足できる	A (4点)	70～90%	4	十分満足できる
C	努力を要する	B (3点)	50～70%	3	おおむね満足できる
		C [○] (2点)	30～50%	2	努力を要する
		C (1点)	～30%	1	一層努力を要する

3 観点の合計得点	15 点 14 点	13 点 12 点 11 点	10 点 9 点 8 点	7 点 6 点 5 点	4 点 3 点
評 定	5	4	3	2	1

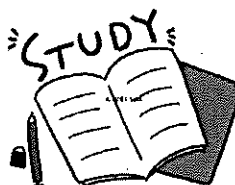
4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス

勉強の仕方に悩む生徒や保護者の方が多いように感じます。そこで、効果的な勉強方法について3つ紹介します。1つでも参考になればと思います。

その1 ^{がくしゅうせい} 学習成果 = ^{なに} 何を × ^{いよく} 意欲



=



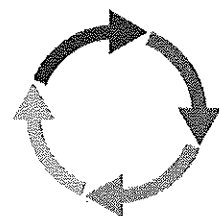
×



最初に言えることは、勉強方法や勉強の仕方だけにとらわれていても成果は出ません。まず、あなたが、どんな気持ちで勉強に取り組むのが大事です。例えば、よい例としては、次のテストで100点を絶対に取りたい。前回のテストよりも10点伸ばしたい。授業をもっともっと理解したい。などが考えられます。逆に、めんどくさい、やらされている、早く終わりたい、などのマイナスの気持ちを持っていると結果もマイナスになってしまいます。

その2 ^{こと} 3つの異なるワークを1回するより、^{かい} 同じワークを3回解く

勉強が苦手だけれども、少しでもできるようになりたい!と思う人はぜひこのことを実践してみてください。逆になぜこのことをしないのに勉強がわからないと言っているのかがいつも不思議に思っています。1冊の問題集を1回しただけでは、絶対に覚えることはできません。間違った問題を何回も解くことで理解が深まります。大切なことは何回も同じものに会うこと。勉強も同じことが言えますよ。



その3 ^{べんきょうじかん} 勉強時間より ^{べんきょうりょう} 勉強量で ^お 終わりを ^き 決める

とにかくすぐに勉強に取り掛かるのもいいですが、まず、今日勉強する見通し(予定)を立てましょう。例えば、「この問題ができるまでやろう」や「15ページできるまでやろう」「ここまで終わらなかったら寝ない」という意志固めを最初にすることです。逆に、「〇〇時までやろう」というのは、とにかく時間さえてしまえば終わってしまいますので、椅子に座っていたら時間がきて終わってしまいます。そうすると力はないけど勉強した気持ちだけになってしまい、結果何の問題も解けなくなってしまいます。また、そうなってくるとだんだん勉強をさせられていると自分で認識してしまいます。常に、時間ではなく、勉強量で終わりを決めましょう。



5. なぜ勉強する必要があるのか

べんきょう い み じぶん ひょうげん 勉強をする意味①=自分らしく表現するため

あなたの人生は、あなた自身が組み立てて進んでいく道筋です。このことは、「自己実現」といい、あなたが将来やりたいこと、なりたい職業に近づくことをいいます。勉強することは、あなたがあなたらしい人生を送るためには、必要なことです。

例えば、「〇〇の仕事に就きたい」と言っているだけで、その仕事に必要な力が身についていなかったとしたらどうでしょう？いつまでたっても、その職業には就けません。つまり、あなたが勉強しないと、「自己実現」できないのです。

べんきょう い み こうきしん しこうりよく ひょうげんりよく こうじょう 勉強をする意味②=好奇心や思考力、表現力の向上

勉強をする意味①でも、書いたように、「将来のために、自己実現のために、良い成績を取る」ということはあります。しかし、「テストで良い点数を取るためだけに勉強をする」のではありません。中学校で様々な教科を学ぶことには大きな意味があります。

(ア) 自分の興味関心がどこにあるのかを、自分で分析したり、その好奇心を自分で伸ばしたりする。

(イ) 課題を解決するための様々な考え方を学ぶことで、思考力を高める。

(ウ) 自分が学んだことや考えたことを相手に分かりやすく伝えることで、表現力を身につける。

これらのように、中学校の間に様々な教科に出会うことで、テストで点数を取る以上に大切なことを身につけることができます。

6 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について

・一人1台タブレットが導入され、授業内でも調べ学習やタブレットを使用した授業が多くなります。各授業での使用方法につきましては各教科担任から指示があると思いますので、その指示を聞いて使用してください。またそれに伴って、「ロイロノート」というアプリを利用します。課題提出や友人同士でのまとめ作業など様々な用途に使用できるアプリとなっております。

・e-Learning ポータルサイトでは、津市教育委員会からでている動画など自宅学習で使用できるサイトが上がっています。ぜひ、活用して自宅学習を実りあるものにしてもらいたいと思います。

ログイン方法は授業内でお知らせした ID とパスワードをサイト内に打ち、ログインしてください。

ID とパスワードを忘れそうな人は下のところに書いておいてください。

ID: _____

パスワード: _____

特別活動について

特別活動とは、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質能力を育成することを目指す教育です。

【具体的な教育活動】

特別活動		
学級活動	生徒会活動	学校行事
・学級や学校の生活上の問題解決 ・学級内の役割の自覚 ・一人一人のキャリア形成	・生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 ・学校行事への協力 ・ボランティア活動などの社会参画	・入学式、始業式、終業式、終了式卒業式などの儀式 ・文化祭 ・体育祭 ・修学旅行 ・職場体験学習 ・ボランティア活動

道徳教育について

道徳教育は、よりよく生きるために、以下の4つの内容を学習し、人間としての生き方についての考えを深めることが目的です。

道徳教育の内容(年間35時間)
- A 主として自分自身に関すること - B 主として人との関わりに関すること - C 主として集団や社会との関わりに関すること - D 主として生命や自然崇高なものとの関わりに関すること

国語 3年生 シラバス

1 国語の目標

社会生活における人との関わりの中で、国語を正しく使って伝え合う力を高め、考えたり想像したりする力をつける。

2 国語を学ぶ意義

- ・知識や技能を身に付けることによって、生活の中にある言葉や文章を理解できるようになる。
- ・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付く。
- ・人との関わりの中で伝え合う力が高まり、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：日本の言葉の特徴や使い方（漢字・文法・慣用句・故事成語・ことわざなど）について理解することができる。 技能：話や文章に書かれている情報を正確に理解することができる。	A「話すこと・聞くこと」において、スピーチなどの活動で、今までの学習を生かして自分の考えを他者に分かりやすく発信することができる。 また、他者の考えを大切に、相手が何を伝えたいのかを聞き取ることができる。 B「書くこと」において、作文や記述などの活動で、習った漢字や正しい文法を使って、他者に伝わりやすい文章を書くことができる。 C「読むこと」において、文学的文章では、さまざまな作品を読み、それぞれの人物の心情（気持ち）や作品の主題（テーマ）をとらえ、自分の経験と照らし合わせたり、他者の意見を聞くことで自分の読みや考えを深めることができる。 説明的文章では、文章の構成や筆者の主張を読み取り、筆者の物事の見方を参考にしながら新たな見方・考え方をもち、自分の考えの幅を広げることができる。	日本の言語文化を大切に、他者の意見を尊重しながらも自分の思いや考えを伝えようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、あきらめずに取り組むこと
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 国語を学ぶ意義 例：学習したことを実際の生活に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 国語の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した部分は、復習としてそのつどワークを自分で進めましょう。
- ② 漢字の学習は、予習としてどんどん自分で進めましょう。
- ③ 普段から、読書の時間を大切にしましょう。

国語 3年生 学習計画と評価規準について

【学習の年間計画】

学期	月	学習内容 (単元)	学習のねらい
1 学期	4	◆オリエンテーション ○世界はうつくしいと(詩) ○握手(小説) ・意見を聞き、適切さを判断する(聞く)	■詩・俳句 「世界はうつくしいと」、「俳句の可能性」、「俳句を味わう」、「挨拶」、「初恋」、「わたしを束ねないで」、「初日」 ・詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 ・俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。 ・語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈の中での意味や効果を考えている。 ・詩の表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深めている。 ・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会と人間、自分の可能性について考えている。
	5	○学びて時に之を習ふ(漢文・解説) ・説得力のある構成を考えよう(話す) ○作られた「物語」を超えて(論説) ・具体化・抽象化(情報) ・論理の展開を意識して書こう(書く)	
	6	・「走って」いるのは誰?／文法を生かす(文法) ・相手や場に応じた言葉遣い(言葉) ・熟語の読み方(漢字) ○俳句の可能性(俳句・解説) ○俳句を味わう(俳句)	■小説・随筆文 「握手」、「言葉の釣り糸を垂らす」、「故郷」、「温かいスープ」、「アラスカとの出会い」、「律儀な桜」 ・抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深めている。 ・感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げている。 ・文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考えている。 ・文学作品を通して、人の生き方や社会との関わり方を考えている。 ・作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考えている。 ・自分の考えと作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何かについて、自分の考えをまとめている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
	7	○言葉の釣り糸を垂らす(随筆) ・語彙を豊かに ・和語・漢語・外来語(言葉) ・実用的な文章を読む(情報) ・報道文を比較して読む(情報) ・情報の信頼性(情報) ・読書を楽しむ(読書活動)	
2 学期	9	○挨拶(詩) ○故郷(小説) ・論理の展開を整える(書く) ・慣用句・ことわざ・故事成語(言葉) ・聞き上手になろう(話す・聞く)	■論説文・解説文 「作られた「物語」を超えて」、「複数の意見を読んで、考えよう」、「それでも、言葉を」 ・ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、「具体と抽象」の関係を理解している。 ・論説の特性を踏まえ、「具体と抽象」の関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 ・提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、自分の知識や経験と結び付けたり、討議したりして、評価している。 ・抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を辞書などで確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。 ・文章を批判的に読んだり話し合ったりすることを通して、言葉に対する自分の意見を確立している。
	10	・漢字の造語力(漢字) ○複数の意見を読んで、考えよう(論説) ・考えを効果的に伝えよう(書く) ・「ない」の違いがわからない?(文法) ○初恋(詩)	
	11	・和歌の世界(古典・解説) ○古今和歌集 仮名序(古文・音読) ○君待つと一万葉・古今・新古今(古文) ○夏草(古文) ・つながる古典(古典・解説)	■古文・漢文 「学びて時に之を習ふ」、「和歌の世界」、「古今和歌集 仮名序」、「君待つと」、「夏草」 ・教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文、現代語訳を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 ・人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。 ・三つの歌集の歴史的背景や和歌が詠まれた状況に注意し、和歌の世界に親しんでいる。 ・三つの歌集の歌を音読したり、比較したりして、そこに詠まれた情景や心情を読み取り、特徴的な表現やその効果について、評価している。 ・歴史的背景に注意して作品を読み、作者が何に感動したのかを理解している。 ・心に響いた俳句やその一節を引用し、その理由などを発表している。
	12	○それでも、言葉を(論説) ・話し合いを効果的に進めよう(話す・聞く) ・漢字のまとめ(漢字) ・合意形成に向けて話し合おう(話す・聞く) ・本は世界への扉(読書)	
3 学期	1	○温かいスープ(随筆) ○アラスカとの出会い(随筆) ○律儀な桜(随筆)	■漢字・文法・語句 ・漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 ・漢字の造語力を意識しながら、漢字の意味を理解し、読んだり書いたりしている。 ・既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。 ・言葉の単位、文の組み立て、単語の分類、自立語、用言の活用、付属語など、3年間で学習した文法の内容を理解している。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、実際の使用場面を想定しながら、適切な使い方を考えている。 ・和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に適切に使い分けられている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べたりしている。
	2	○私を束ねないで(詩) ○初日(詩)	
	3	・三年間の歩みを振り返ろう(話す・聞く・書く) ・国語の力試し	

社会科3年生シラバス

1 社会科の目標

広い視野で物事を見て、平和で民主的な世の中を築き上げるための知識・技術の基礎を身に付ける。

2 社会科を学ぶことの意義

- ・よりよい社会を築き上げるのは自分であるという自覚を持てる。
- ・自分を大切に、他の人や異なる文化を大切にする心が持てる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識： 我が国の国土と歴史や現代社会の政治、経済、国際関係に関する事柄を理解する。 技能： 社会的事象について調べ、まとめることができる。	思考： 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察することができる。 判断： 社会に見られる課題を把握し、解決に向けて複数の立場や意見を踏まえて選択・判断することができる。 表現： 自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。	世の中の様々な事柄について進んで学習し、よりよい社会の実現に関わろうとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):社会科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の意見も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②自らの学習の調整(例):振り返りカードを使って、課題解決の過程を振り返り、評価・改善をしようとしていること。
- ③社会科を学ぶ意義(例):社会科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。

5 社会科の勉強アドバイス

- ①授業で学んだことをワーク(問題集)を使って何度も復習しましょう。
- ②暗記だけでなく、資料などを見て、課題に取り組みましょう。
- ③覚えたことを、簡単な言葉に置き換え、自分の言葉で説明できるようにしましょう。

社会科 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二度と日本大戦	4月～5月	二度の世界大戦のころの日本のできごとについて、世界の動きと関連させながら、基本的な知識を理解している。表やグラフ、資料などを活用し、当時の情勢を読み取っている。	日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら公正に考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。
現代の日本と私たち	5月～6月	第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰、また高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きについて、世界の動きと国民生活の向上について関連させながら理解する。	戦後の諸改革や国際社会の変化、経済成長や国民生活の変化を、相互に関連付けながら、現代の日本や世界の特徴を考察し、表現させる。	現代の日本の特徴を理解しようと、自分たちの生活とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組もうとしている。
現代社会と私たち	6月	現代社会の特色を理解し、その知識を身に付けている。また、現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などがあることに気付き、それらを理解している。	現代社会の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。	現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
日本国憲法と私たち	7月～9月	人間の尊重についての考え方を、基本的な人権を中心に深め、法の意義を理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがいがい」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。	現代社会に見られる課題の解決に向けて、人権の尊重の考え方や日本国憲法の基本的原則などを視野に主体的に社会に関わろうとしている。
政治と私たち	10月～11月	国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身に付けている。	新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。	民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。
経済活動と私たち	11月～12月	消費、市場経済、生産と金融の仕組み、社会保障や租税についての基本的な働きを理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、多面的・多角的に考察し、発表している。	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。
国際社会と私たち	1月～2月	世界平和の実現や地球環境問題、貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のための様々な取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身に付けている。また、国際社会の現状や諸課題に関する様々な資料を収集・選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、パフォーマンス課題などを通して考えを深めたりしている。	国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとしている。
課題探究と私たち	2月～3月	持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。また、レポートを作成するにあたって、「探究課題の設定→資料の収集・中間発表・議論→レポートの作成・完成」という科学的な探究の過程をたどっている。	持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。	持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究している。また、より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。
具体的な評価の方法		授業の様子（発言、ペアワーク、発表）、単元テスト・定期テストなど	授業の様子（発言、ペアワーク、発表）、単元のまとめ、プレゼンテーション、単元テスト、定期テストなど	授業の様子（発言、ペアワーク、発表）、振り返りカード、単元のまとめなど

数学科3年生シラバス

1 数学科の目標

数学的活動を通して、数学的に考える力をつけることを目指す

2 数学を学ぶ意義

生活の中にある数字や式の意味を理解できるようになる。
物事を順序だてて考え、大切なことを見失わないようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：数量や図形などについて決まりを理解することができる。 技能：問題を数字や式に表して、計算することができる。	思考：課題を解決するために、比べたり、決まりを見つけたり等することができる。 判断：今までの学習の中から今の課題を解決する手段を見つけることができる。 表現：自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。	数学の楽しさや良さを生活や学習に生かそうとしたり、学習を振り返って次の勉強をより良くしようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：数学の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
例：友達の意見を聞き、自分の考えを深めること
- ② 数学を学ぶ意義 例：数学を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 数学の勉強アドバイス

- ① 学校で学習した内容は、オクラで復習しましょう。
- ② 文章のある問題は絵や図を書いたりして解くようにしましょう。

数学科 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
式の展開と因数分解 1章	4月～5月下旬	式の展開や因数分解の必要性和意味を理解することが出来る。	多項式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
平方根 2章	5月下旬～6月中旬	数の平方根の必要性和意味を理解することが出来る。	数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
二次方程式 3章	6月中旬～7月	二次方程式の必要性和意味を理解することが出来る。	二次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	二次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
関数 $y=ax^2$ 4章	9月～10月中旬	関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を理解することが出来る。	関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
図形と相似 5章	10月中旬～11月	相似な図形の性質の必要性和意味を理解することが出来る。	図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	相似な図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
円の性質 6章	12月	円周角と中心角の関係の必要性和意味を理解することが出来る。	円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
三平方の定理 7章	1月	三平方の定理の必要性和意味を理解することが出来る。	三平方の定理について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	三平方の定理を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
標本調査とデータの活用 7章	2月	標本調査の必要性和意味を理解することが出来る。	標本調査について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	標本調査を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
評価の方法 具体的な方		定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物	定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物	授業中の発言・授業のふりかえり・レポート等の提出物

理科3年生シラバス

1 理科の目標

自然や様々な現象に関わり、見方や考え方を働かせながら、見通しをもって観察や実験を行う活動を通して、科学的に考えるために必要な力をつける。

2 理科を学ぶ意義

- ・生活の中にある事柄や現象について正しく学ぶことで、適切に判断し、行動できる。
- ・科学的に物事を考えることができるようになる。
- ・探究する能力や態度を身に付けることで、主体的、創造的に生きていく力を付けることができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：自然の様々な現象について理解できる。 技能：科学的に考えるために必要な観察や実験に関する基本的な技能を身につけることができる。	思考：課題に対して、科学的な根拠をもとに考えることができる。 判断：学習により身についた様々な実験方法や分析方法の中から、課題を解決するための正しい方法を決定することができる。 表現：観察や実験を通して自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。	自然の様々な事柄や現象に進んで関わり、科学的に考えることができる。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、科学的に考え、あきらめずに取り組むこと
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 理科を学ぶ意義 例：学習したことと生活の中にある科学を結び付けていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 学習のポイント

- ・学習の振り返りをするときには、めあてに対しての振り返りを書くようにしましょう。そして、「授業で分かったこと」は何なのか、また「授業を受けたがまだ分からなかったこと」は何なのかを表現しましょう。
- ・パフォーマンス課題では、単元で学んだことをもとに自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようにしましょう。

理科 3年生 学習計画と評価規準について

領域	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命の連続性	4月～5月	生物のふえ方や進化に関する事柄や現象の特徴に着目しながら、様々な生命活動や進化についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	様々な生命活動や進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解き明かし、生物の成長とふえ方についての特徴やきまりを発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	様々な生命活動や進化に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
化学変化とイオン	6月～7月	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、イオンやイオンが関係する化学変化についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	イオンが関係する化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解き明かし、化学変化におけるきまりや関係性を発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	イオンやイオンが関係する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
運動とエネルギー	9月上旬～11月中旬	力や仕事、エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、これらの基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力や仕事、エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解き明かし、きまりや関係性を発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	力や仕事、エネルギーに関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
宇宙を観る	11月下旬～1月中旬	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、様々な天体現象についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	様々な天体現象について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解き明かし、太陽の様子、惑星と恒星についての特徴やきまりを発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	様々な天体現象に関する事柄に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
自然と人間	1月下旬～3月	日常生活や社会と関連づけながら、環境保全や科学技術の利用についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	環境保全や科学技術の利用などを調べる観察、実験、調査などを行い、自然界のつり合いについて科学的に考えている。	環境保全や科学技術の利用に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、パフォーマンス課題、レポート、振り返り、単元テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、パフォーマンス課題、振り返り、単元テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、振り返り、パフォーマンス課題など